

人間植物関係学詳論 (2単位)

担当者氏名 小池安比古 松嶋賢一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

人間の身近な暮らしの中にある景観植物、園芸植物などが具体的にどのような形で人間とかかわり、心身の健康にどのような影響をもたらしているか、暮らしの中で福祉を増進する上でどのように活用すればよいかを先端的事例を通して検討し、この領域の現状と課題を理解する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

人間植物関係学

社会園芸学

都市園芸学

農学

栽培学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	植物の栽培と園芸 (1)	人と植物のかかわりの変遷をたどる	本授業では、家から国家まで、さまざまな大きさのコミュニティにおける植物の活用技術の理解を通して人間植物関係学の応用を学ぶ。
2	植物の栽培と園芸 (2)	食用作物 (イネ、ムギ) の栽培の変遷とその利用	
3	植物の栽培と園芸 (3)	果樹、野菜、花の栽培の変遷とその利用①	
4	植物の栽培と園芸 (4)	果樹、野菜、花の栽培の変遷とその利用②	
5	植物の機能性 (1)	栄養学的な視点から植物をとらえる	
6	植物の機能性 (2)	感性学的な視点から植物をとらえる	
7	嗜好品としての植物	タバコ、コーヒーなどの嗜好品としての植物利用	
8	教育と園芸	学級・学校裁園の役割と教育的効果	
9	公園・都市緑化	公共空間の緑化の必要性	
10	盆栽	BONSAI として発信される日本文化	
11	ハーブ	ハーブの多様な使用法～見る・食べる・嗅ぐ～	
12	ガーデニング	ガーデニングの自他への共効果	
13	建物緑化	蓄熱と放熱の化学	
14	野生植物の利活用	雑草を癒しに組み入れる心の寛容性	
15	植物利用の展望	これまでのまとめとこれからの植物利用について	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

バイオセラピー学入門 (講談社)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

・園芸学/金浜耕基/文永堂出版 (2009) ・観賞園芸学/金浜耕基/文永堂出版 (2013)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

授業中に課すレポート, 小テストをもとに総合的に評価する。

◆オフィスアワー

小池: 毎週月曜日 12:30~13:30、松嶋: 毎週金曜日 11:00~13:00

◆その他受講上の注意事項